

平成24年度進行管理・評価シート
小田原市歴史的風致維持向上計画（平成23年6月8日認定）
（最終変更平成24年3月30日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1「小田原市歴史まちづくり協議会」の設置	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 清閑亭保存整備活用事業	3
2 松永記念館整備活用事業	4
3 歴史的風致形成建造物等整備事業	5
4 史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業	6
5 史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業 (城跡周辺環境整備)	7
6 八幡山古郭・総構整備事業	8
7 案内板等整備事業	9
8 国道255号電線地中化事業	10
9 銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上	11
10 歴史的風致形成建造物等活用事業	12
11 地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ	13
12 街かど博物館活用事業	14
13 なりわい交流館活用事業	15
14 伝統工芸品産業産地組合助成事業	16
15 小田原散策マップ等作成事業	17
16 レンタサイクル事業	18
17 民族芸能保存支援事業	19
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の修理(整備を含む)	20
2 文化財の防災	21
3 文化財の保存及び活用の普及・啓発	22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1「小田原市歴史的風致維持向上計画」の認定	23
⑥その他(様式1-6)	
1 自治会みこしパレードの実施	24
2 歴史的建造物リレーの実施	25
3 城下町おだわらツアーデーマーチの実施	26
4 小田原板橋 竹の小径「竹垣再生プロジェクト」の実施	27

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	28
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	
「小田原市歴史まちづくり協議会」の設置	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 小田原市歴史的風致維持向上計画の作成及び変更に関する協議並びに計画の円滑な実施に係る連絡調整を行うため、歴史まちづくり法第11条に基づき、平成22年7月1日に設置した。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成22年度には庁内検討会において作成した小田原市歴史的風致維持向上計画骨子案をベースに、5回の会議を経て、計画策定を行った。平成23年度及び平成24年度には各2回の会議を開催し、計画の進捗や変更等についての協議を行った。
 協議会の意見等が小田原の歴史まちづくりの取り組みの大きな推進力になっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

平成25年度からは条例に基づく附属機関として、より充実した協議会の運営に取り組む必要がある。

状況を示す写真や資料等



平成22年度第2回協議会は、清閑亭(現在の歴史的風致形成建造物)で行った。

○平成22年度

第1回(平成22年7月8日)

内容

- ①会長・副会長の選出
- ②「歴史まちづくり法」の概要と計画の策定について

第2回(平成22年10月13日)

- ①計画策定に向けた提案について(NPO団体より)
- ②「小田原市歴史的風致維持向上計画(素案)」について

第3回(平成22年11月19日)

- ①「小田原市歴史的風致維持向上計画(素案)」について
- ②事業予定について

第4回(平成23年1月12日)

- ①計画認定スケジュールの変更について
- ②市民意見募集結果について

第5回(震災の影響により書面協議)

計画案に対する意見聴取

○平成23年度

第1回(平成23年7月15日)

- ①計画に位置付けられた事業の推進について
- ②歴史的風致形成建造物の指定等について
- ③計画の変更について

第2回(平成24年3月7日)

- ①計画の変更について
- ②計画に基づく事業の進捗状況について
- ③歴史的風致形成建造物の指定について

○平成24年度

第1回(平成24年12月27日)

内容

- ①計画に基づく事業の進捗状況について
- ②歴史的風致維持向上推進等調査について
- ③歴史まちづくり協議会の位置づけについて

第2回(平成25年3月18日)

- ①歴史まちづくり協議会の附属機関への設置について
- ②計画に基づく事業の進捗状況について
- ③歴史的風致維持向上推進等調査報告会について



平成24年度第1回協議会の模様。

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	
景観計画の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
小田原市歴史的風致維持向上計画(以下「本計画」という)における重点区域は、景観計画に示された景観形成方針と類型別・構造別の方針に配慮すべき区域内に含まれるほか、3つの拠点型重点区域を含むものであり、これら景観施策との積極的な連携を図ることとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市では、平成17年12月に「小田原市景観条例」を制定(平成18年2月施行)し、市全域を景観計画区域とした「小田原市景観計画」を策定した。
この景観計画では、本計画の重点区域内に、3つの拠点型重点区域を定めており、それぞれの区域ごとに歴史的風致などの特性を踏まえた景観形成基準(方針と行為制限)を設けており、良好な景観形成のための規制誘導を行っている。
また、屋外広告物についても、景観計画に即した基準等を「小田原市屋外広告物条例」に規定し、景観上の配慮につなげている。

【定量的数値】

拠点型重点区域別の景観届出件数

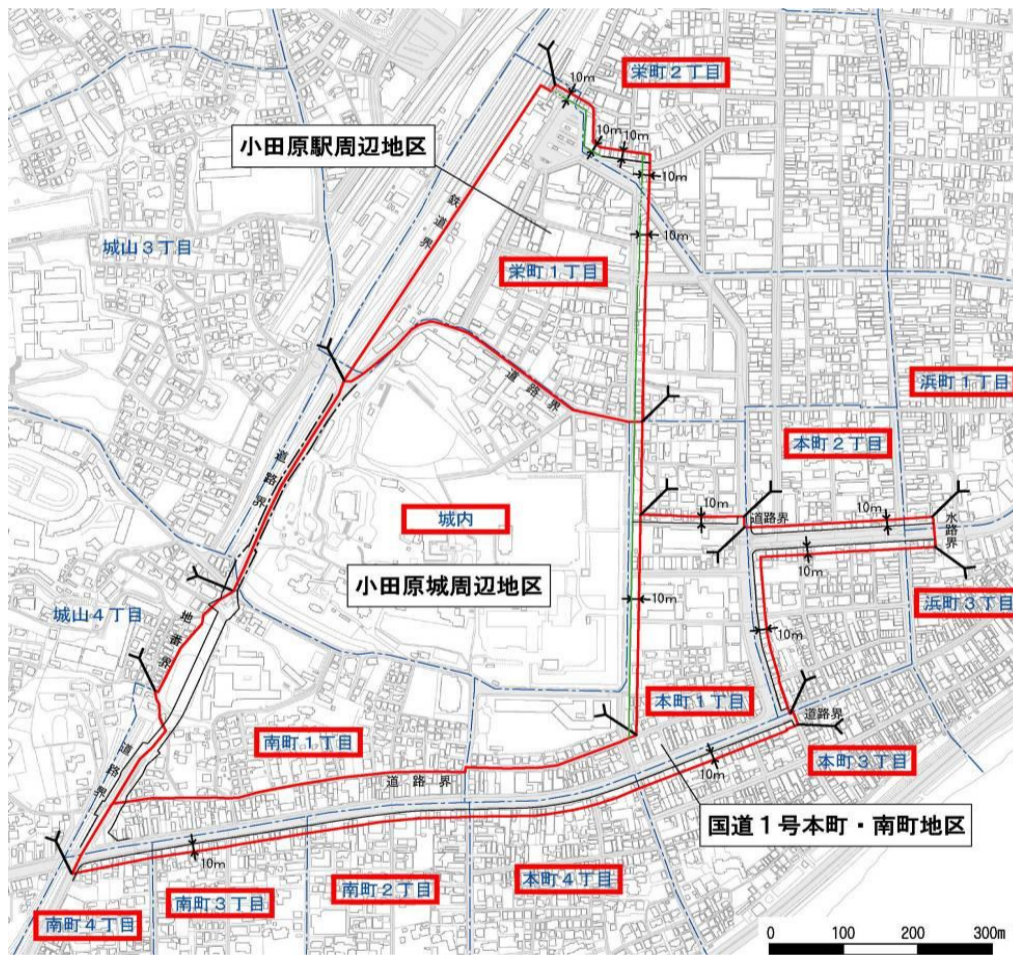
H23 小田原城周辺地区5件、小田原駅周辺地区6件、国道1号・南町地区16件 計27件

H24 小田原城周辺地区6件、小田原駅周辺地区13件、国道1号・南町地区5件 計24件

進捗状況 ※計画年次との対応
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



本計画における重点区域内の景観計画上の3つの拠点型重点区域



【小田原城周辺地区の事例】

平成24年4月に、小田原城周辺地区内の「学橋」(小田原城址内)の塗り替えの際、赤系の色彩であったが、景観評価員の意見を参考にしうえで、地域特有の歴史的風致を踏まえた落ち着いた同系色への塗り替えを行った。

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成23～24年度
項目		現在の状況	
清閑亭保存整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(暮らし・にぎわい再生事業の効果促進事業)・市単独事業 (H23) 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業 (H24)		
計画に記載している内容	登録有形文化財で、歴史的建造物である清閑亭は、建物の老朽化が著しいため、補修・修理を実施し、観光客・市民の憩いの場、旧別邸等を巡る回遊ネットワークの拠点、別邸文化を発信する施設として整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
清閑亭を今後、整備・活用するため、平成23年度には現況調査と改修補強計画の作成等を行い、必要な改修箇所や今後の活用のあり方を示した改修計画を策定した。また、平成24年度には、改修計画の成果に基づき耐震診断や構造補強の実施設計等を行い、建物の耐震性能を把握し、必要な補強箇所や補強方法の方向性を示した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	基本的に建物等を常時活用しながら事業を行っていくため、改修工事、構造補強等工事については、活用に支障がないように段階的に行う必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">清閑亭(南面)</p>		 <p style="text-align: center;">清閑亭(北面)</p>	
 <p style="text-align: center;">清閑亭改修計画策定報告書・図面集(H23)</p>		 <p style="text-align: center;">清閑亭構造補強等実施設計業務委託 成果品(H24)</p>	
		 <p style="text-align: center;">上記構造補強等実施設計書(H24)</p>	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成23～24年度 現在の状況
松永記念館整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年度～平成32年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(暮らし・にぎわい再生事業の効果促進事業)・市単独事業 (H23) 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業 (H24)
計画に記載している内容	昭和前期に建てられた歴史的建造物である松永記念館の敷地内に所在する歴史的建造物の修理及び庭園の修景整備等を一体的に実施し、観光客・市民の憩いの場、回遊ルートの拠点とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本事業の推進に際しては、登録有形文化財・日本の歴史公園100選に選定されている貴重な建造物等の復元・修復と利便性向上のための改修とのバランス等が課題となるため、平成23年度に活用・整備に関する基本的な考え方を定める基本計画を策定した。これを踏まえ同年度に具体的な改修・整備に向けた現況調査(図面作成・測量等)及び基本設計を実施し、同24年度においては、老櫓荘・葉雨庵の改修・整備等実施設計を行った。なお基本設計・実施設計業務については、前記のような対象の特性に鑑みて史跡・文化財の整備等に精通した専門業者への委託により実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

松永記念館現況(左:奥から別館・本館・収蔵庫. 中:庭園. 右:老櫓荘と庭園)



老櫓荘・葉雨庵の主な改修予定



老櫓荘観覧者出入口
 現況:間口が狭く段差があり、団体客の入館に支障がある。
 対応:靴脱ぎ場・雨除けの拡大。



老櫓荘土塀
 現況:傾斜し倒壊の危険性が高い。
 対応:石垣を積み直し、上で土塀を修復する。



葉雨庵・附属亭烏葉亭連絡部分
 現状:別棟のため、往復に利便性を欠く。
 対応:渡り廊下を新設し、雨除けを拡大する。



葉雨庵建物周り
 現状:多湿な環境が建物の腐朽を促している。
 対応:排水路の整備等により地盤

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物等整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業(H24)

計画に記載している内容 重点区域内にある歴史的建造物を対象に、歴史的風致形成建造物に指定し、建造物の修理・修景に対する助成を行うとともに、定期的に一般に公開する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年度に市で管理する4施設(松永記念館、清閑亭、小田原文学館本館、小田原文学館別館(白秋童謡館))を歴史的風致形成建造物に指定した。市の管理する建造物を先導的に指定することにより、今後の民間所有の建造物指定のきっかけとなったとともに、歴史的風致の核を成す、建造物の周知が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

平成25年度以降、所有者との調整を進め民間所有の建造物の指定を実施していく予定であり、あわせて、修理・修景に対する助成制度の整備を検討していく。

状況を示す写真や資料等

○歴史的風致形成建造物(平成24年度指定:4件)



老櫓荘



葉雨庵



本館(右)・収蔵庫(左)



庭園



清閑亭



小田原文学館本館



小田原文学館別館
(白秋童謡館)

※老櫓荘、葉雨庵、本館、収蔵庫、庭園については一体的に松永記念館として指定を行ったもの。

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成23～24年度 現在の状況
史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 国宝重要文化財等保全整備費補助金・市単独事業(H23・24)

計画に記載している内容 「史跡小田原城跡本丸・二の丸整備基本構想」に基づき小田原城本丸・二の丸の史跡整備や回遊ルート整備を進め、市街地の歴史的環境の改善や本市固有の歴史的な景観の保全をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成22年度に整備実施設計を策定した御用米曲輪について、平成23年度はバックネットやフェンスなどの既存構造物を撤去するとともに、曲輪周辺や土塁上の発掘調査を行い、市街地の歴史的環境の改善や本市固有の歴史的な景観を保全した。また、平成24年度には、平場部分の発掘調査を進めており、当初予想していなかった戦国時代の遺構を多数発見し、本市のシンボリックな歴史的風致の姿が明らかになった。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

当初予想していなかった戦国時代の遺構が検出されたため、実施設計の変更や整備スケジュールを延長する必要がある。

状況を示す写真や資料等



御用米曲輪の全景



江戸時代の瓦積塀(H24)



戦国時代の障子堀(H23)



戦国時代の庭跡(H24)



戦国時代の礎石建ち建物跡(H24)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	
史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業 (城跡周辺環境整備)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)(H24)

計画に記載している内容 「史跡小田原城跡本丸・二の丸整備基本構想」に基づき小田原城本丸・二の丸の史跡整備や回遊ルート整備を進め、市街地の歴史的環境の改善や本市固有の歴史的な景観の保全をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

城址公園境界隣接地における塀の改修(板塀の設置)を実施した者に対して、経費の一部を補助したことにより、城址公園境界隣接地に良好な景観を形成できた。

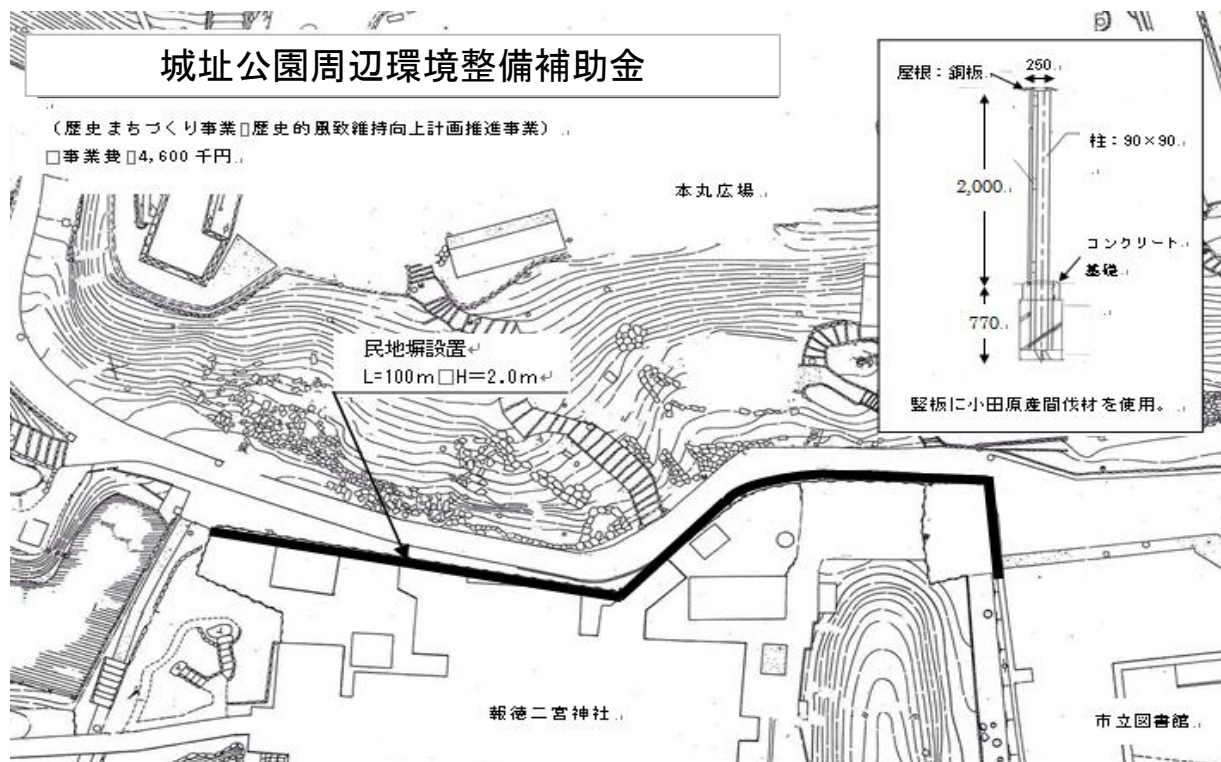
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

史跡小田原城跡との隣接境界部での事業であり、景観上の配慮が強く求められたが、市内産の間伐材を使用した木塀の整備や、行燈調の街燈(補助対象外)の設置など、民間事業者の協力を得て、歴史的な環境に配慮した空間形成が進められた。

状況を示す写真や資料等



施工前



施工後 小田原城址公園境界木塀設置



評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成23～24年度 現在の状況
八幡山古郭・総構整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～平成32年度

支援事業名 国宝重要文化財等保全整備費補助金・市単独事業(H24)

計画に記載している内容 小田原のまち割りを規定している戦国時代の文化遺産である史跡小田原城跡の八幡山古郭及び総構の整備や、史跡小田原城跡を説明するためのガイダンス施設の整備を順次行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
平成22年に策定した「史跡小田原城跡八幡山古郭・総構保存管理計画」に基づき、全体の整備計画を策定していく必要があるが、その策定には至っていない。また、三の丸外郭新堀土塁については、ガイダンス施設設置等に時間がかかることから、平成23年度に説明板や柵の設置などの暫定整備を行い一般開放した。このことにより、重要な歴史的風致である八幡山古郭等への認識が徐々にではあるが高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後、全体の整備計画策定を早急に行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

暫定整備を行い開放した三の丸外郭新堀土塁



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	
案内板等整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成29年度

支援事業名 市単独事業(H23・24)

計画に記載している内容 歴史的建造物等について、案内板や情報板の新設、更新を実施する。市民や来訪者が建造物等への理解を深めることができるとともに、歴史的風致の拠点を巡る回遊性の高いネットワークが形成される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的建造物(清閑亭、松永記念館、小田原文学館など)周辺の主要地点に案内板を設置したことにより、本市の歴史的風致の拠点を巡る市民や来訪者の利便性を向上させた。引き続き、来訪者等への見やすさの視点に立った設置を進める。

- ・平成23年度 2基(藤棚交差点、山角天神社前)
- ・平成24年度 2基(文学館、板橋地区)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

平成23年度施行済み



藤棚交差点



山角天神社前

平成24年度施行済み



文学館



板橋地区

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成23～24年度

項目	現在の状況
----	-------

国道255号電線地中化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------	---

事業期間 平成22年度～平成25年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(道路事業(基幹事業)) (H23・24)

計画に記載している内容 国道255号電線類地中化全体計画のうち、旧甲州道に位置する銀座・竹の花周辺地区において、電線類地中化を行い、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

アーケードが撤去され、道路空間に広がりが見られ、見通しがよくなったため、沿道の建物の修景に対する気運が高まった。
 ・平成23～24年度 アーケード撤去工事を実施
 ・平成23～24年度 水道管・ガス管移設工事を実施
 ・平成24年度 栄町一丁目交差点～銀座通り交差点間(両側) 各戸引込管工事を実施
 ・平成24年度 銀座通り交差点～竹の花交差点付近間(東側) 電線共同溝工事を実施

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している 補助金や予算の確保の関係から、次年度の修景予定を確実に把握する必要がある。
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成23～24年度
項目		現在の状況	
銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業 (H23・24)		
計画に記載している内容	旧甲州道沿いに位置する銀座・竹の花周辺地区において、地区街づくり基準に基づく景観修景への助成、歩道修景、案内板の設置等を行い、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
修景事業の進捗により、なりわいの感じられる良好な街なみ景観の形成を先導している。 ・平成23年度:3件の店舗等の修景(外壁のタイル貼・木製装飾の設置・看板の改善) 1件の工作物の修景(木製和風板塀の設置) ・平成24年度:2件の店舗等の修景(外壁格子の設置・色彩の改善・植栽柵の設置・看板の改善)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	緑地整備や案内板設置については、実施に向けて土地所有者や、管理者等と十分な調整により詳細を詰めていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  <p>糀屋 (色彩の改善)</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>白の出屋(外壁格子の設置)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;">  <p>サクマ(木製装飾の設置)</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>伊勢治書店(外壁のタイル貼り)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;">  <p>だるま料理店(木製和風板塀の設置)</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>二宮呉服店(看板の設置)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: flex-end; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">H23年度</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">H24年度</div> </div>			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物等活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成23年度～平成32年度
支援事業名	市単独事業(H23・24)
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物に指定された建造物等を定期的に一般公開するため、事業運営する支援法人等に支援し、建造物を回遊、交流拠点としての機能を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物へ指定した登録有形文化財でもある清閑亭を小田原城周辺の回遊・交流拠点として、民間団体の自由な発想を活かし、施設に関連したイベントやまちあるきを通年で実施した。また、回遊性の拡大に向け、近隣の歴史的建造物(松永記念館、文学館等)と連携したスタンプラリーや情報発信を実施し、利用者の増加が図られた。
 【定量的評価】平成23年度入館者及びイベント参加者(11月末現在):10,289人、イベント件数29件
 平成24年度入館者及びイベント参加者(11月末現在):13,224人、イベント件数78件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	イベント参加者の増加に伴い、施設の改修・整備(老朽箇所修繕やトイレ増設など)を更に進める必要がある。

状況を示す写真や資料等



スタンプラリー パンフレット

清閑亭・松永記念館・文学館・古稀庵をめぐるスタンプラリー
 (対象施設以外にも、近現代における皇族、政財界人、文学者などにゆかりの別邸や跡地が多く、それらをめぐるまちあるきツアーも数多く実施している。)



登録有形文化財 清閑亭



政財界人の邸園巡りと小田原花街グルメツアー

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	
地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成25年度

支援事業名 市単独事業(H23・24)

計画に記載している内容 歴史的風致が色濃く残る板橋地区やかまぼこ通り地区において、歴史的環境にあった街なみ形成や景観に配慮したまちづくりの推進に向け、景観調査、住民とのワークショップによるルールづくり、協議会への組織化等の支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年7月から国土交通省から委託を受け実施している歴史的風致維持向上等推進調査において、板橋地区の街なみの核を成す歴史的な建造物として内野家住宅の活用等を進めるため、休会状態であった地元組織「板橋まちなみファクトリー」を改めて立ち上げ、歴史的風致に対する認識を高めるきっかけができた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域ごとに目指す姿を明確にする必要があるが、歴史的建造物と一般の商店、住宅等が混在しているため、地域の意向を十分踏まえ、地域住民とともに、地域に合ったルールづくり等を検討していく必要がある。
--	---

状況を示す写真や資料等

活用の検討を進めている内野家住宅



(板橋地区)

今後、まちづくりの検討が考えられる地域



(かまぼこ通り地区)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	
街かど博物館活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成23年度～平成32年度
支援事業名	市単独事業(H23・24)
計画に記載している内容	小田原に古くから栄えた地場産業を営む店舗等を一般公開する「街かど博物館」において、訪れる人々に街の歴史や魅力を知ってもらう体験プログラムなど運営を支援することにより、伝統文化の伝承への意識が高まる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成19年度から順次、「街かど博物館」を18館整備し、これらを巡る「街かど博物館ツアー」を、平成23年度に2回、平成24年度に3回実施し、それぞれ49人、62人の参加者を集め、地域の伝統文化の伝承への意識の高揚に寄与した。街かど博物館ファンクラブに、平成23年度末349人、平成24年度末386人が登録している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	○歴史的風致向上のための、看板等整備事業については、所有者と調整を図り、整備対象店舗等を検討する必要がある(平成26年度に実施予定事業)。

状況を示す写真や資料等

○街かど博物館の主な事例



【街かど博物館(外観)】
 薬博物館(濟生堂薬局小西本店)
 大正時代建築の建造物を今に残す。



【街かど博物館(内部)】
 かつおぶし博物館(籠常)
 明治時代からの製法を生業として今も守り続けるとともに、博物館機能としてその工程を紹介する。

○ソフト事業の主な事例



【街かど博物館体験ツアー】
 市内に点在する街かど博物館を拠点に地域資源としての自然や街並み等の景観を楽しんでもらう、街歩きツアーを定期的で開催する。



【街かど博物館スタンプラリー】
 街かど博物館をきっかけとした、効果的な回遊を促進することを目的としてガイドマップを発行する(スタンプラリーを通年で実施する)。
 また、ガイドマップとして発行することで、ものづくりや伝統的な技術を周知し、歴史的な価値を向上させる。

評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成23年度～24年度
項目		現在の状況	
なりわい交流館活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業(H23・24)		
計画に記載している内容	なりわい交流館において、小田原の地場産業の情報発信や生涯学習等の各種イベントの会場として、市民や観光客が交流する場を提供することにより、本市の歴史と伝統への認識が高まる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開館より11年が経つが、利用者数は安定した数値で推移しており、旧東海道小田原宿の拠点施設として、市民・観光客の中で定着した施設となっている。 市民・観光客の中心市街地回遊のお休み処として年間来館者数：平成23年度25,807人(365日開館)、平成24年度23,266人(364日開館) 地場産業の情報発信の場として伝統工芸品展の開催(年間2回)来場者数：平成23年度夏425人、秋367人、平成24年度夏384人、秋404人 生涯学習等の各種イベント会場としての機能として利用団体数：平成23年度87団体、平成24年度90団体			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p>施設外観</p>	<p>【小田原宿なりわい交流館機能】</p> <p>観光案内や休憩のために立ち寄っていただくことにより、建物自体の持つ古い旅籠の雰囲気や、展示物の生業(なりわい)に関する資料に触れて頂くことにより、歴史と伝統への認識を高めている。</p>	<p><2階> イベントスペース</p> 	 <p>イベントスペースでは一般団体の展示等も行われている ※写真右は木工業の若手による展示</p>
<p><1階> 観光案内お休み処</p> 	<p>【小田原の伝統工芸品展】</p> <p>市内外の方に伝統工芸品の魅力を体感する機会を設けること、地場産業関係者には興味を持つ客層のリサーチの場として業界の振興を図ることを目的に伝統工芸品展を開催している。</p> <p><夏> 平成23年7月22日(金)～24日(日) 夏の『涼』をテーマに、小田原風鈴、小田原提灯など、夏を連想させる工芸品を中心に展示 また、体験コーナーとして風鈴作り、からくりパズルの製作体験を実施</p> <p><秋> 平成23年11月18日(金)～20日(日) 伝統小田原漆器協同組合を中心に、伝統的工芸品である小田原漆器の展示 ろくろ挽き、漆塗りの職人による実演</p>		
			

評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成23～24年度
項目		現在の状況	
伝統的工芸品産業産地組合助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業(H23・24)		
計画に記載している内容	中世より続く小田原漆器などの伝統的工芸品を担う産地団体が行う振興事業へ助成し、担い手の育成や伝統技術の継承を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成23年度、24年度ともに、伝統小田原漆器協同組合、小田原箱根伝統寄木協同組合が行う、「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づいた振興事業に対し、助成を行った。助成の対象事業には、従事者・後継者育成事業、販路開拓事業があり、担い手の育成や伝統技術の継承に寄与した。また、近年、従業員として働いていた若手職人の中で、独立する職人も出てきた(工房の一部を間借りしながら製作、あるいは自身の工房・店を構えて製作。平成23年度は寄木1人、平成24年度は漆器1人、寄木1人)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
伝統技術を保護・継承するための支援 (挽物技術後継者育成事業(H19-21実施)) 平成22、23年度はふるさと雇用再生特別基金事業にて実施		ものづくりの交流(別事業) 芸術家の創作活動と、ものづくり産業の相互交流促進によりブランド力向上を目指す。 コラボレーション展示会の開催などを支援し、そこからの地域経済活性化に取り組む	
PR支援(別事業) 地場産業の情報発信の場づくりに努め、伝統と文化を広く伝える 小田原駅自由通路の物産展示コーナー		 	
			

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成23～24年度 現在の状況
小田原散策マップ等作成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業(H23・24)

計画に記載している内容 歴史的な街なみ・施設等の案内、史実等のストーリー・回遊ルート等の紹介のための散策マップを作成し、点在する歴史的資源等の回遊を促進し、市民や来街者が歴史的風致に触れる機会が増え、関心が高まる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 歴史的な街並み、施設、景観などをめぐるウォーキングコースを紹介する「ウォーキングタウンおだわら散策マップ」については、平成23年度から市域を3区分して、西部版、中央版、東部版の順に作成することとしており、平成23年度は西部版、平成24年度には重点区域に当たる中央版を発行し、歴史的風致の拠点回遊の利便性が向上した。
 平成23年度 西部版発行(20,000部)
 平成24年度 中央版発行(50,000部)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-16 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成23～24年度
項目		現在の状況	
レンタサイクル事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業(H23・24)		
計画に記載している内容	レンタサイクルの拠点を増やすことにより、旧城下やその周辺に点在する歴史的資源をより容易に巡ることが可能になり、市民や来街者が歴史的風致に触れる機会が増え、関心が高まる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
NPO法人小田原ガイド協会が小田原城址公園内の小田原城歴史見聞館前を拠点に運営するレンタサイクル「ぐるりん小田原」事業について、運営費の一部を助成することにより、本市の歴史的風致の拠点の回遊性を向上させた。 平成23年度貸出実績:1,693台 平成24年度貸出実績:1,786台			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	利便性の向上のため、小田原駅周辺を含む貸出拠点の配置や電動車種の導入等について、運営主体とともに検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
自転車台数:20台 利用料金:1回300円			

評価軸③-17 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成23～平成24年度
項目		現在の状況	
民俗芸能保存支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業(H23・24)		
計画に記載している内容	歴史的風致を構成する民俗芸能は、中心市街地の若年層の減少により、次世代の担い手不足が懸念されているため、保存活動団体に対し、普及啓発や保存の取り組みを支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
小田原民俗芸能保存協会は小田原市内に残る伝統的民俗芸能の保護・保存に努めているが、後継者育成事業の一環として、当該協会加盟7団体による若手後継者を中心とした後継者育成発表会を、平成23年度は23年10月30日に、平成24年度は24年11月4日に開催した。 本発表会の開催により、市内に残る民俗芸能を広く市民に周知し関心を高めるとともに郷土愛の醸成を図ることができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成25年度は小田原民俗芸能保存協会が創立40周年を迎えることから、記念大会として、市外から賛助出演団体を招き例年より盛大に開催する予定である。		
状況を示す写真や資料等			
開会式		山王大漁木遣唄	
			
鹿島踊り(福踊)		小田原囃子	
			
ちょうちん踊り		相模人形芝居下中座	
			
寿獅子舞		栢山田植歌	
			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成23～24年度 現在の状況
文化財の修理(整備を含む)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の修理及び整備にあたっては、文化財の価値を損なうことなく適切な保存を図る必要があるため、詳細な調査を行い、履歴に基づいた修理及び整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

登録有形文化財清閑亭を改修すべく、計画策定や実施設計等を行った。(P.3参照)
 史跡小田原城跡御用米曲輪において、発掘調査を進めている。(P.6参照)
 (平成23年度調査(外周部):平成23年10月～平成24年3月 調査面積:約1,700㎡)
 (平成24年度調査(平場):平成24年4月～平成25年3月 調査面積約:3,100㎡)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	過去の調査記録などの成果の活用や新たな調査研究を実施し、必要に応じて有識者の意見を得ながら、文化財の総合的な整備を図る必要性がある。

状況を示す写真や資料等



清閑亭



御用米曲輪

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	
文化財の防災	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 日常から文化財の防災に対する意識を向上させるため、所有者・管理者・地域住民・消防が一体となった防災訓練を定期的を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーにあわせ、平成23年度は、「郷土文化館分館松永記念館」、平成24年度は登録有形文化財である「小田原文学館」において消防訓練(放水訓練)を実施した。
市内各所において、消防用設備(消火器・消火栓)の点検等や消防機関による防火指導等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	火災等による滅失を防ぐため、自動火災報知機や消火設備などの防災設備設置を推進し、被災リスクの軽減を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等



平成23年度消防訓練実施状況
(平成24年1月18日:松永記念館:約30名参加)



平成24年度消防訓練実施状況
(平成25年1月22日:小田原文学館:約30名参加)



平成23年度防火指導状況
(平成24年1月19日:船津家の長屋門)



平成24年度防火指導状況
(平成25年1月22日:正恩寺)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用の普及及び啓発	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財を積極的に公開することにより、誰もが気軽に歴史的風致に触れることができる環境づくりを推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

三の丸外郭新堀土塁の暫定整備を行い、一般公開した。(P.8参照)
 発掘調査の成果を遺跡調査発表会・最新出土品展、遺跡見学会、遺跡講演会の実施により公開した。
 登録有形文化財などの建造物の見学会を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財に興味、関心の薄い層をどう取り組むか、また、公開の方法や新しい手法について研究していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



遺跡調査発表会実施状況
 平成24年12月9日:146名参加



最新出土品展実施状況
 平成24年12月5日～12月16日:602名参加



遺跡見学会実施状況
 平成24年3月25日:77名参加



遺跡講演会実施状況
 平成24年11月25日:61名参加



文化財建造物春の見学会実施状況
 平成24年5月23・24日:45名参加

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
歴史的風致守ろう 県内初認定で向上計画		平成23年6月10日	神奈川新聞
歴史的風致維持向上計画 小田原、県内で初認定		平成23年6月10日	東京新聞
小田原市の歴史的風致維持向上計画を認定		平成23年6月10日	建通新聞
県内初、国が認定 歴史的風致を維持		平成23年6月18日	神静民報
小田原市歴史的風致維持向上計画の認定について		平成23年8月8~14日	小田原ケーブルテレビ放映

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画認定後、新聞4紙に記事が掲載され、また、小田原ケーブルテレビからインタビューを受けた様子が放映された。計画認定の周知が図られ、歴史的風致に対する関心が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

指定候補のひとつ松永記念館・老樗荘—小田原市板橋



小田原市 歴史的風致守ろう 県内初認定で向上計画

小田原市は9日までに国の認定を受けて歴史的風致維持向上計画を決定した。認定は全国で26市町村となり、県内では初めて。小田原城周辺の貴重な建造物の整備、活用に弾みのつくことが期待される。(山口 譲一)

市都市計画課によると、計画期間は2011年度から10年間。重点地域として、国指定史跡の小田原城址周辺の城下町区域(約420畝)が対象になる。国の認定を受けたことで、市が進める歴史的建造物の復元や買収、案内板の設置、伝統行事への支援などに国から補助金が受けられるようになる。

市は城下町、宿場町として栄えた歴史的資産を活用した観光振興などのまちづくりの力を入れている。一方で都市化による開発から貴重な建造物を守り、維持管理することが課題になっていた。

計画では歴史的風致形成建造物として20候補をリストアップ。このうち、松永記念館・老樗荘(板橋)や清閑亭(南町)、小田原文学館(同)などを近く指定して整備、活用を本格化させるという。

市は08年度に計画づくりに着手。学識経験者や市民団体関係者らからなる協議会を設置して今年3月に計画を策定。国に申請して8日に認定証が交付された。

平成23年6月10日付 神奈川新聞

歴史的風致の維持向上計画 小田原、県内で初認定

小田原市は9日、市の歴史的風致維持向上計画が富山県高岡市、長野県松本市、埼玉県越谷市とともに国から認定を受けた、と発表しました。これまで金沢市や岐阜県高山市など全国22市町村が認定されている。認定日は8日付で、県内では初認定となった。

歴史的風致は歴史まちづくり法で「地域固有の歴史、伝統を反映した人々の活動や歴史上の価値が高い建造物、周辺市街地が一体になって形成された環境」などと定義している。(長崎磐雄)

市は「歴史的建造物の補修や案内板設置など事業ごとに申請し、認められれば国から補助金が出る可能性がある。一般公開にもつながり、利点がある」としている。

小田原市は本年度から10年間、小田原城下町が重点区域(約四百二十畝)。小田原市は維持、向上すべき歴史的風致として①城下の旧三代明神例大祭②宿場町・小田原の水産加工業―など、次世代に継承していくために策定した。

計画は本年度から10年間、小田原城下町が重点区域(約四百二十畝)。小田原市は維持、向上すべき歴史的風致として①城下の旧三代明神例大祭②宿場町・小田原の水産加工業―など、次世代に継承していくために策定した。

平成23年6月10日付 東京新聞

評価軸⑥-1
その他

項目	評価対象年度	平成23～24年度 現在の状況
自治会みこしパレードの実施		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 祭礼等の伝統文化の継承を図るため、保存団体の活動に必要な支援を実施し、地域の伝統文化伝承への意識を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

祭礼等伝統文化の継承を図るため、小田原市観光協会の主催する「小田原ちょうちん夏まつり」で実施された「自治会みこしパレード」において、観光協会への補助金の交付と警備等の人的支援を行った。
平成23年度は東日本大震災の影響により中止。平成24年度は神輿27基、参加者も市内外から1,778人が集まった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

小田原ちょうちん夏まつりの自治会みこしパレード



評価軸⑥-2
その他

評価対象年度 平成24年度

項目

歴史的建造物リレーの実施

登録有形文化財や小田原ゆかりの優れた建造物など歴史的建造物は、旧街道沿いや史跡周辺に数多く現存し、事業運営する支援法人等に支援することで、定期的な公開が促進され、回遊、交流拠点としての機能が高まる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

松永記念館の近隣に所在する、山月(旧共寿亭・旧大倉喜八郎別邸)、古稀庵(旧山縣有朋別邸)、掃雲台(旧益田鈍翁別邸)跡、内野邸に、南町に所在する小田原文学館(田中別邸)を加えた、板橋周辺の歴史的建造物等の価値や魅力を一体的にアピールし、当該エリアの交流人口の拡大や回遊性の向上、松永記念館の来館者数の増進等に貢献した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

◆ 全7走のリレー形式により、建築・意匠や旧亭主ゆかりの人物等に関する講話・資料展示を開催するとともに、周辺景観の整備を実施する。

- 《第1走》 清閑亭・小田原文学館(7月28日) 講話「食道楽レシピ再現」
体験「食道楽レシピによる鮎料理の試食」ほか
- 《第2走》 松永記念館(8月25日) 体験:子供茶道はじめ ほか
- 《第3走》 内野邸(10月14日) 講話:「板橋の歴史～内野邸・地藏堂・老櫻荘・無住庵など」ほか
- 《第4走》 小田原文学館(11月3日) 講話:「北原白秋の世界～白秋と白秋ゆかりの人々の自筆の手紙」
体験:「白秋好みのメニューによるランチ」
「蓄音機で聴く北原白秋の声」
「島田澄子氏白秋童謡コンサート」ほか
- 《第5走》 掃雲台跡～松永記念館(12月2日) 講話:「益田鈍翁と掃雲台の建築」
- 《第6走》 古稀庵～内野邸(2月3日) 講話:「山縣有朋と古稀庵」 ほか
- 《第7走》 小田原文学館(3月24日) 講話:「田中光顕の事績」
「建築としての小田原文学館」 ほか



小田原文学館でのコンサート風景



いにしへのレシピを味わう

評価軸⑥-3
その他

評価対象年度 平成23～24年度

項目

城下町おだわらツデーマーチの実施

計画に記載している内容 なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成23年度及び24年度の城下町おだわらツデーマーチのパンフレットに歴史的風致維持向上計画の認定や歴史的風致形成建造物の紹介を記載した。城下町おだわらツデーマーチは小田原市と近隣の町及びその教育委員会、社団法人日本ウォーキング協会、朝日新聞社が共同で主催しているウォーキングイベントで毎年延べ10,000名近くの参加があり、パンフレットに記載することで、市民はもとより、市外からの参加者へ、広く歴史的風致維持向上計画について周知できた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

今後も市主催の関連イベント等で周知を図っていく。

状況を示す写真や資料等

小田原の歴史を感じながら
ウォーキングをしてみませんか

小田原は古くから東海道の宿場町として、また城下町としてにぎわってきました。風光明媚なこの地には、明治後期から昭和の初期にかけて明治の元勳山縣有朋をはじめとした当時を代表する多くの政財界人や、近代を代表する詩人の北原白秋などの文化人たちが別邸などを構えました。



清閑亭 (南町1-5-73)

また、小田原北条氏の時代に全国から集められた職人の優れた技術と、豊かな自然の恵みが融合し、かまぼこや干物などの水産加工業や小田原漆器などの木工業といった小田原固有の文化が形成されてきました。これらの文化や、宿場町・城下町の中心的な存在である小田原城周辺や、由緒ある社寺などが多く残る板橋地区周辺において、歴史と伝統を受け継ぎ、今も行われている祭礼行事や、旧来の町割りや歴史的建造物などが一体となり良好な小田原の歴史的風致となっています。



老徳荘 (板橋941-1)

しかし、社会環境の変化や少子高齢化などによって、歴史的風致を構成する要素である商家や別邸などの歴史的建造物の維持、祭礼や伝統的な祭りなどの担い手確保などが困難になり、旧城下などの良好なまちなみの保全、伝統行事や産業技術の継承にも大きな課題がみられるなど、小田原固有の歴史的風致が失われつつあります。

そこで、小田原市では、小田原固有の歴史的風致を守り育て、次世代へ伝えていくため、また、歴史的資源を積極的に活用した小田原らしいまちづくりの推進に資するため小田原市歴史的風致維持向上計画を策定し、平成23年6月8日に国から認定を受けました。



神輿を海中へ担ぎ入れる「お八朗」という神事 (御幸ヶ浜：8月)

この計画では、ツデーマーチのルートにも含まれています小田原城総構と板橋地区周辺を重点区域としており、この区域には歴史的な建造物や歴史的な風致を感じることができる場所が今なお残っています。

そんな歴史的な風致を感じながらウォーキングをしてみたいはいかがでしょうか？

項目

小田原板橋 竹の小径「竹垣再生プロジェクト」の実施

計画に記載している内容 なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

板橋の回遊スポットとして知られている「竹の小径」を再生して地域の回遊性を高めるとともに、市民や観光客等に対して板橋及び周辺地域の魅力をアピールし、地域の活性化に寄与することを目的とする。板橋秋の交流会実行委員会が主催し、地元商店会や自治会、小田原まちづくり応援団、長崎造園、小田原市が協力して実施した。「竹の小径」に隣接する山月(旧共寿亭・旧大倉喜八郎別邸)の荒廃しつつある竹林から間伐し、竹材を得るとともに、前回整備から10年を経て劣化した竹垣を撤去・新設して景観を整えた。小田原箱根商工会議所からの補助金を得て実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

次回の改修の際も、竹材や費用の確保、地域住民や各種団体の協力を得る必要がある。

状況を示す写真や資料等



位置図



山月(旧共寿亭)の竹林から竹を伐採



劣化した竹垣(改修前)



新しい竹垣(改修後)

実施行程

- ・9月1日(日) 山月(旧共寿亭)の竹林より竹の伐採を実施。竹垣用のほか、小田原用水沿いに活ける一輪挿し用も伐採。長さを切りそろえるなど竹材を加工。各協力団体などから約30名が参加。
- ・10月7日(日) 古い竹垣の撤去、竹垣の設置を実施。9月1日と同様、地元自治会など、30名以上が参加。
- ・10月28日(日) 一輪挿し用に竹を加工。地元自治会、市職員等が参加。

評価対象年度	平成23～24年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:小田原市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時:平成24年12月27日(木)午後2時～3時30分 平成25年 3月18日(月)午後3時～5時	
(コメントの概要)	
<p>■全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画全体として、個々の事業を把握し、総合的に評価できる進行管理・評価及び協議会は有効性がある。 ・個々の事業が関連性を持ち、相乗効果を上げる必要がある。 ・市単独のソフト事業についても、他市と連携し、国の補助など要望するとよい。 ・景観法と歴史まちづくり法を上手に組み合わせ、建造物の保存を図る必要がある。 ・歴史的風致形成建造物に、石垣や工作物等も含めて位置づけをしていくべきではないか。 ・市内部の関係所管で歴史的資源についての共通認識を持って欲しい。 <p>■評価軸③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業(城跡周辺環境整備)(③-5) <ul style="list-style-type: none"> ・神社側が自主的に行った建物の外壁塗装や木の伐採などが含まれていない。 ・民間の活動を評価シートに記載する難しい部分であり、今後の検討の余地はある。 ○地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ(③-11) <ul style="list-style-type: none"> ・内野家住宅の活用の部分に、地元組織を改めて立ち上げたことが分かるが良い。 ○民族芸能保存支援事業(③-17) <ul style="list-style-type: none"> ・⑥-1にも同事業の記載がある。 ・保存のための実際の事業のもの(⑥-1)と育成を目的とするもの(③-17)の区別として2つあることはよい。 <p>■評価軸⑥その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史的建造物リレーの実施(⑥-2) <ul style="list-style-type: none"> ・指定した4つの歴史的風致形成建造物が連携するソフト事業としてよい。さらに経済効果につながればよい。 ○小田原板橋 竹の小径「竹垣再生プロジェクト」(⑥-4) <ul style="list-style-type: none"> ・評価シートには、主に公共が行ったものなどが挙げられているが、民間主体で行ったこのような取組みについても、成果とともに評価シートに記載するとよい。 ・民間主体で行うものについて、歴史まちづくり事業として位置づけていく必要がある。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内部で、本計画の趣旨や目的を共有できるよう、庁内組織(推進会議)を活用し、研修、講習会など実施していく。 ・評価シート(③-11)の定性的・定量的評価の欄へ、休会状態であった地元組織「板橋まちなみファクトリー」を改めて立ち上げたことが分かる記述を追加する。 ・計画に記載の事業や民間主体の事業が実施された場合、評価軸⑥その他の項目として評価シートへ記載できるように工夫する。 ・計画に記載されていない事業や民間主体の事業との関連づけのためにも、積極的に、本計画や本計画に基づく歴史まちづくり事業のPRを図る。 	